

# The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

December  
ISSUE



December, 2022  
Volume 129

## 経験と成長

2023年サッカーワールドカップがカタールで行われています。4チームずつに分かれた8つの予選リーグをそれぞれ戦いその上位2チーム、全16チームで決勝トーナメントを行います。参加チームはそれぞれの大陸で行われる予選を突破して決められますが、開催国は、必ず出場できます。カタールは、初めて本大会に参加できましたが、残念ながら予選突破はできませんでした。今まで、開催国が予選を突破できなかったことはなかったので不名誉な記録となってしまいましたが、カタールにとって今後のサッカーの発展につながる経験になったことは間違いありません。

なぜそのように思うのかと言うと、2002年の日韓共催ワールドカップ以降、日本のサッカーは見事に発展を遂げたからです。当時、日本もカタールと同じように予選リーグを突破出来るか不安視されていましたが、何とか結果を残しました。この時の経験を起点に、日本サッカー協会は発展を続け、選手への強力なバックアップ体制が整っていきました。サッカー協会が、選手の意識改革を進めたと言っても過言ではないでしょう。

この原稿を書いている段階で、日本は1勝1敗で、今大会の予選リーグ突破をまだ決定できていません。しかし、ドイツに劇的な逆転勝利を収めた試合でも、敗れてしまったコスタリカ戦でも、今までにない選手個人とチーム全体のレベルアップが見られました。その理由は明白で、貴重な経験を積んでいる選手が以前とは比べ物にならないぐらい増えたからです。日本のJリーグはもとより、ヨーロッパ各国のプロリーグで先発メンバーとして名を連ね、高いレベルでしのぎを削り、

身体面、技術面、精神面において、とても逞しく成長しました。何年もの積み重ねの中で、世代交代をしながら培ってきた日本のサッカー発展は、経験に基づいた着実な成長と言えます。

子ども達も、18年の経験を経て大人へと成長します。学校へ通い、習い事もこなし、友達とたくさん会話をしていきますが、そのすべてが成長の糧となります。そして、そのサポートをするのが保護者と学校の役割になります。様々なサポートが考えられますが、大切なことは、子ども達が真剣に楽しめるようにすることではないでしょうか。ただ単に経験できる場を提供するだけではなく、どのように声掛けすればいいか、どこまで手助けしてあげればいいのか、何をチェックしてあげればいいのか、それらを常に考えてあげることが子どもにとって最大のエネルギーになると思います。子ども達にとって、「自分のために心を砕いてサポートしてくれた」という事実は、大人になる頃に、きっと何物にも代えがたい財産となり、一生心の支えとなります。

学校の教員として、子ども達のために何が出来るのか常に考えていますが、子ども達に対して誠実に向き合い、Open-mindedになって精一杯コミュニケーションをとっていくことが、将来に渡って子ども達を支えていくことになると思います。日本サッカー協会が選手を支えて大きく飛躍させたように、家庭と学校が力強い両輪となって、子ども達の充実した経験と成長を支えていきたいと、強く願っております。

学務幹事 岡田 智明



## キリスト教 教育テーマ 12月：喜び December: Joy

「あなたがたは世の光である。…あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。…」  
マタイによる福音書 5章 14-16節

今回は、昔私の祖母の前に現れた、3人の天使のお話をしたいと思います。

大学で6年間学んだ後、私は岡山県のとある小さな教会で牧師として働いていました。私の実家は大阪で、祖母も大阪で一人暮らしをしていました。私が大学生の頃はよく、バイトに行く前に祖母の家に寄って夕食をご馳走になっていたのですが、孫の中でも特に祖母とは親しい関係でした。けれども就職して岡山に住むようになってからは、仕事が忙しくてなかなか大阪に帰ることができない日々が続きました。

ある日、大阪の母から「お祖母ちゃんが道で倒れて病院に運び込まれた。」と電話があり、とても驚きましたが、その時は仕事の都合でどうしてもすぐには大阪に帰れず、取りあえず祖母への手紙だけはしたためて、最初のスケジュールは変更しませんでした。祖母はしばらく病院で落ち着いていた様子でしたが、その後突然意識を失くし、そのまま帰らぬ人となってしまったのです。

私はとても後悔し、悲しみました。「あんなに優しくしてくれたお祖母ちゃんを入院してから一回もお見舞いせず、言葉も交わさないで別れてしまった。」と。

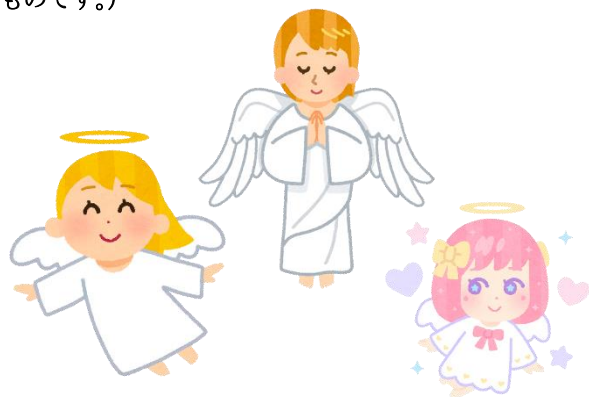
ところが、後で母から思いがけないことを知らされました。祖母が最初に道で倒れて救急車で運ばれた時、その様子を見ていた3人の小学生の女の子達が、なんと自分たちだけで相談して祖母の入院している病院を捜し出し、病室を訪ねてくれたというのです。そしてお手紙や手作りの折り紙などをプレゼントしてくれて、祖母は喜んでそれを病室に飾っていたそうです。

この女の子たちは毎日、道で祖母と出会うと「おはようございます。」と挨拶を交わしていただけの近所の子ども達で、それ以上に親しい間柄ではありませんでした。しかしこの話を母から聞いた私にはすぐに、神さまがこの女の子たちを「天の使い」として祖母の所へ送ってくださったことがわかりました。自分の本当の孫は最後まで来てくれなかったけれど、神さまから送られた天使たちに慰められて、祖母は安らかに天に召されることができたのです。

この女の子達、34年前に小学生だった人たちなので、今は40歳代のはずです。きっと今は、イエスの母マリアのような、優しく勇気のある女性に成長しているのではないのでしょうか。DIAの児童らも子ども時代は天使のように、成長したらマリア、ヨセフのように人の心を温かく照らせる人であってほしいと願います。

Christian Education Committee 石川 眞弓

(この原稿は11月25日点灯式礼拝で行ったメッセージに加筆・修正したものです。)



<お知らせ>

- ① 11月4日の収穫感謝礼拝では、児童らからたくさんのお米が寄せられました。礼拝後、「京都寄り添いネット」(日本バプテスト京都教会内)と「釜ヶ崎いこいの家」(大阪)の二つの施設へ寄付されました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。
- ② 11月5日のきずな祭では「聖書の会」SGさんによるチャリティー販売が行われました。収益は「おにぎり献金」の一部として、岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかりと福島の若松聖愛幼稚園、熊本の慈恵病院、ウクライナ人道支援募金にお捧げ致します。
- ③ 今月のおにぎり献金は、12月13日(火)です。お子様に献金をお持ちください。感染症予防のため、必ず封筒などに入れてお持たせいただきますようお願い申し上げます。なお今年度もページェント募金がありませんので、そのことをも覚えてお捧げくださると幸いです。

# Unit of Inquiry Unit 4

～人間の健康は、遺伝や個人の思考や選択、環境の影響を受ける～

私たち動物はどのように生まれ、成長していくのか、そして体はどのように形作られ、どのように機能するのか——。4年生のUOI(探究の単元)、Unit 4では、このような疑問を解決するべく、学習を進めました。

はじめに、ヒトやメダカが生まれる様子や体を動かすために必要な器官(骨・筋肉・関節)について学びました。その上で、今度は京都市動物園へ校外学習に出かけ、園内で研究をされている職員の方から、様々な動物の骨格や体の動かし方についてお話を聴いたり、興味をもったことを質問したりして、すでに学習したことを深めました。また様々な動物の行動を観察して興味をもったことをメモしました。

また、京都府助産師会より助産師さんをお招きして、私たちヒトの誕生についても教えていただきました。

学習指導要領では、骨・筋肉・関節や人の体の動かし方は4年生、ヒトやメダカの誕生は5年生の理科で別々に学習します。これら別個の学習内容を、「人間の健康は、遺伝や個人の思考や選択、環境の影響を受ける」という広い概念としてとらえたものが探究の単元です。

学習の最終段階である「サマティブ・アセスメント課題」では、児童それぞれが関心をもった対象動物について、骨格や生まれ方、育ち方について探究し、デジタルスライドを作成して発表しました。選んだ動物や着目するポイントは、どれも個性の光るものばかりでした。

4年生も後半戦、1つのUnit(単元)が進むごとに聴衆を意識した分かりやすい発表ができるようになり、頼もしく感じています。







# からのおしらせ

## 心温まるクリスマスのお話

いよいよ今年もあと1か月を残すのみとなりました。12月はクリスマス、その後すぐお正月がやってきます。子どもたちはきっとうきうきしていることでしょう。

今月は DIA Library が所蔵するクリスマスの本をご紹介します。絵本は子ども向けに書かれているように思われがちですが、実は大人も楽しめるもの。是非ご家族で一緒にお読みいただければと存じます。

皆様のご家族や大切な人たちとともに、温かく素敵なクリスマスを迎えられるように。

*May the miracle of Christmas fill your heart with warmth and love. Merry Christmas!*



### 「クリスマスってなあに」ディック=ブルーナ作 講談社



皆さんはウサギのミッフィーをご存じでしょうか。このお話は、ミッフィーでおなじみのディック=ブルーナさんが書

かれました。「クリスマスってどんな日？」と聞かれたら、皆さんはどうお答えになりますか。「プレゼントをもらう日！」「おいしいケーキやチキンを食べる日！」との答えとともに「イエス様がお生まれになった日だよ。」と、DIA の子どもたちからの返事が聞こえそうです。

### 「世界で一番のおくりもの」マイケル=モーパーゴ作 評論社



これは実話をもとに書かれたお話です。第一次世界大戦で戦っていたイギリスとドイツ。その最前線で、クリスマスの日に奇跡が起こるのです。その奇跡がしたためられた手紙を、アンティークショップの机の隠し扉から見つけた主人公。さて、その奇跡とは何だったのでしょうか。

## 12月の主な行事・予定

1	木	人権教育研修会(教員)/Human rights education Workshop (午前授業)
2	金	クリスマス礼拝/ Christmas Worship Service
3	土	
4	日	
5	月	Unit 5 (Week 3)
6	火	
7	水	委員会活動/ Student committees
8	木	SPT カンファレンス/ SPT Conferences (午前授業/ AM lessons)
9	金	SPT カンファレンス/ SPT Conferences (午前授業/ AM lessons)
10	土	
11	日	
12	月	SPT カンファレンス/ SPT Conferences (午前授業/ AM lessons) Unit 5 (Week 4)
13	火	SPT カンファレンス/ SPT Conferences (午前授業/ AM lessons)
14	水	SPT カンファレンス/ SPT Conferences (午前授業/ AM lessons)
15	木	(午前授業/ AM lessons)
16	金	終業礼拝(午前授業)/ Closing Worship Service (AM lessons)
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	クリスマス/ Christmas
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

## 1月の主な行事・予定

1/6 始業礼拝 (午前授業)  
Opening Worship Service (AM lessons)